

自然と歴史の天拝山

天神さまの径

全長 一、〇二五メートル
標高 二五八メートル

太宰府天満宮分社

ちくしの銀河

山頂からは、遠くは福岡ドームや
タワー・志賀島まで見渡せ
夜には銀河の星空のように素晴らしい
夜景が眺望できます。



二日市温泉旅館と温泉施設

- ①舞鶴荘 ⑤清泉閣 ⑩大観荘
- ②玉泉館 ⑥扇屋旅館 ⑪バーデンハウス
- ③アイビーホテル 筑紫野 ⑦松原旅館 ⑫博多湯
- ④ニューサカイヤ ⑧湯の原 ⑬御前湯

筑紫野市 商工会 観光協会
☎923-1111 ☎922-2361 ☎922-2421

「天神様の径」をご存じですか？

径は「みち」と読みます。こみちと言う意味です。かつて、菅原道真公が太宰府へ左遷された折に「紫藤の瀧」で身を清められ、無実を訴えるために天拝山へ登られたという小径のことです。

登られる際には御自作天満宮左脇からが起点となり、頂上まで道真公が詠まれた和歌を歌碑とし、道しるべにしております。

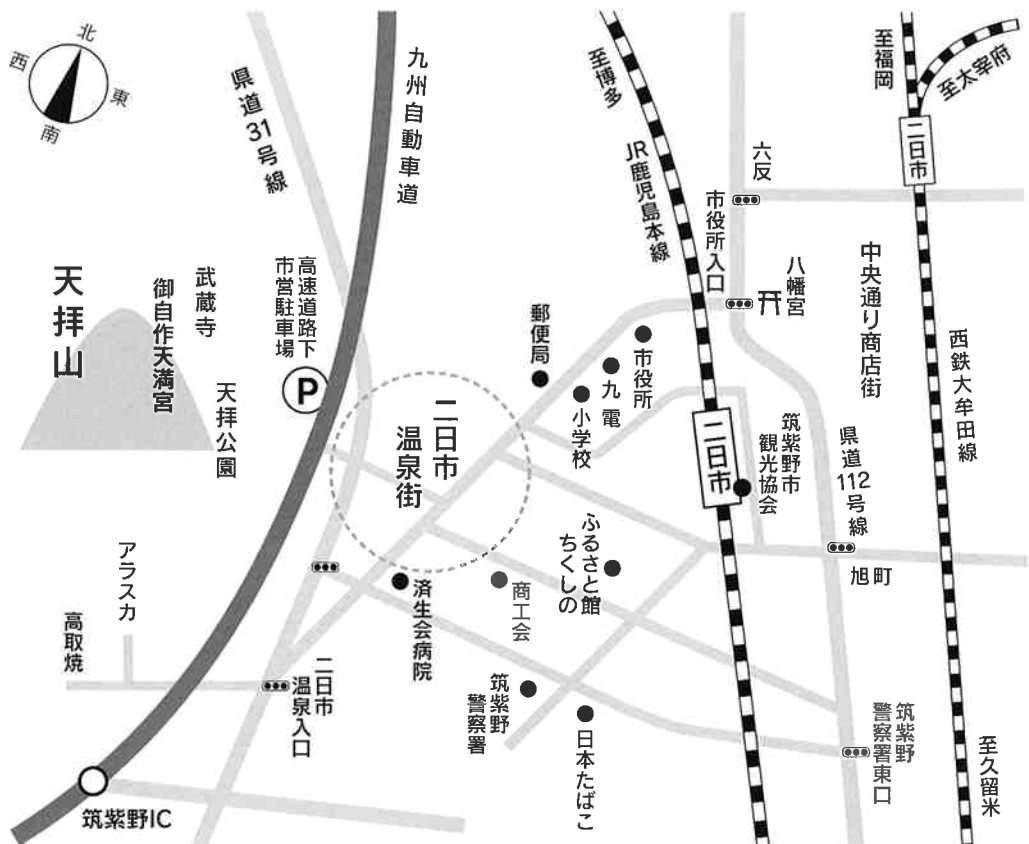
ぜひ、郷土の歴史と文化の天拝山に道真公を偲びながら雄大な筑紫路、遠くは福岡市まで一望出来る山頂までお登りください。

下山は九州自然歩道コースや、飯盛城趾コースへ降りてみてはいかがでしょう？

頂上まで一、〇二五メートル・標高二五八メートルあり三〇分程度の道のりです。

(注) 御自作天満宮

学問の神様として知られる菅原道真公を祭った天満宮は全国で約一二、〇〇〇社ありますが、菅公ご自身で彫られた像が御神体として祭られているのは、ここ御自作天満宮だけです。

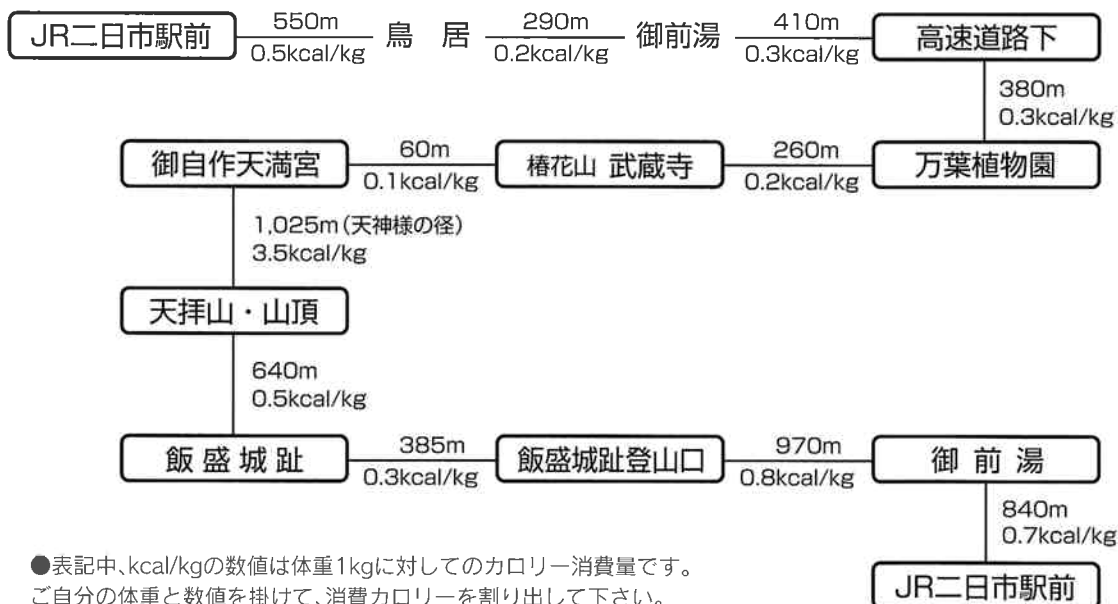


天神様の径ルート歌碑

- (起 点) 東風吹かば匂いおこせよ梅花
主なしとて春を忘るな(拾遺集)
- (一合目) 谷深み春の光のおそければ
雪につつめる鶯の声(新古今集)
- (二合目) 夕されば野にも山にも立つけぶり
なげきよりこそ燃えはじめけれ(大鏡)
- (三合目) 天の下かはけるほどのなればや
着てし濡衣ひるよしもなき(大鏡・拾遺集)
- (四合目) つくしにも紫生ふる野辺はあれど
なき名悲しむ人ぞ聞えぬ(新古今集)
- (五合目) 足曳きのあなたこなたに道はあれど
都へいざといふ人ぞなき(新古今集)
- (六合目) 刈萱の関守にのみ見えつるは
人もゆるさぬ道べなりけり(新古今集)
- (七合目) 草葉には玉と見えつつ侘び人の
袖のなみだの秋の白露(新古今集)
- (八合目) かりがねの秋なくことはことわりぞ
帰るはるさえなにか悲しき(後撰集)
- (九合目) 道の辺の朽木の柳春くれば
あはれ昔と忍ばれぞする(新古今集)
- (頂 上) 天つ星道も宿りもありながら
空にうきても思ほゆるかな(拾遺集)

健康散歩コース

総散策距離 5.81km
総カロリー消費量 7.4kcal/kg



●表記中、kcal/kgの数値は体重1kgに対してのカロリー消費量です。
ご自分の体重と数値を掛けて、消費カロリーを割り出して下さい。